

## 平成30年白老町議会産業厚生常任委員会協議会会議録

平成30年 6月19日（火曜日）

開 会 午後 6時05分

閉 会 午後 6時17分

---

### ○会議に付した事件

1. 萩野12間線跨線橋撤去事業工事にかかる変更について
- 

### ○出席委員（5名）

委員長	広地紀彰君	副委員長	本間広朗君
委員	氏家裕治君	委員	森哲也君
委員	山田和子君		

---

### ○欠席委員（1名）

委員	松田謙吾君
----	-------

---

### ○説明のため出席した者の職氏名

建設課長	小関雄司君
建設課主幹	河原井久生君
建設課主任	山崎英文君

---

### ○職務のため出席した事務局職員

主査	小野寺修男君
書記	葉廣照美君

---

## ◎開会の宣告

○委員長（広地紀彰君） ただいまより産業厚生常任委員会協議会を開会いたします。

（午後 6時05分）

---

○委員長（広地紀彰君） きょうの協議事項といたしましては萩野12間線跨線橋撤去事業工事にかかる変更についてということで、まず担当課からの説明を求めます。

小関建設課長。

○建設課長（小関雄司君） 時間も押しているところ大変申し訳ないのですが、多少時間をいただいて今回の委託業務の説明をさせていただきたいと思います。座ってご説明いたします。

まず、お手元に4枚ものの跨線橋撤去の留意点というものあるかと思いますが、この中で本来、今年度1年で12間の跨線橋を撤去するというので1億何がしの予算をいただいて事業を始めるというような計画でございました。ただその中で若干、工事の内容等は単年度で終わりそうもないという部分が出てきましたので、その辺りで今年度と次年度の2カ年計画でこの事業をやらざるをえない部分があるのかなと思います。

1点目としては工事が一括で昼間もおしてできるような工事ではありませんので、どうしても夜間の時間でやらなければいけないといった部分、それと周辺の障害物が支障になってクレーンで一括で取り外すといったこともできないということで、細かな作業でやらなければいけないということで非常にその辺りが作業として煩雑な部分が出てきたということです。

それともう1件大きいことは、跨線橋は塗装されているのですが、その塗装の中に微弱なのですがPCBが含まれているといった部分がサンプルを採取した中で判明しまして、PCBは少量なのですが法に則ってきちんと処理しなければいけないという部分で処理にも多少の時間と経費がかかるということで今回、先に協議会のほうにご説明してご理解を得られればなということで、きょうの委員会開かせていただきました。その中で、今年度中にある程度の作業はしますけれども、PCBの処理も含めて次年度までの事業ということで次年度もまた多少の予算をいただいて最終的にはPCBの処理まできちんとやりたいといった部分のご報告でございます。簡単ですが説明を終わらせます。

○委員長（広地紀彰君） よろしいですか。簡潔な説明ありがとうございました。

それでは、委員より質疑をお受けしたいと思います。質疑のある方はどうぞ。

山田委員。

○委員（山田和子君） 山田です。予算的にはどのくらい増加する予定なのでしょう。

○委員長（広地紀彰君） 河原井建設課主幹。

○建設課主幹（河原井久生君） 来年度の予算ということでよろしいでしょうか。JR北海道のほうへ電気を戻す作業がまだありまして、これにまだJR北海道のほうは試算は終わっていませんが、おおむね2,000万円程度はかかるでしょうということでJRのほうに2,000万円ぐらいの予算をまだ残っています。それとPCBの処理に関してなのですが、先月ぐらいまでですとかなり高額な取引を言われていたのですが実際的に方法として2つの方法がありまして、塗膜を全部取る方法、これ

が1つと、塗膜を取らないで鋼材のまま処理する方法、塗膜を取る方法のほうは処分場が道内にな  
いものですから東北の秋田、最近では青森にもできたという話も道のほうからは伺っているのですが、  
一応秋田のほうに問い合わせせて試算はしたところであります。それと鋼材のまま処理するのは苫小  
牧に1社業社がありまして、最初そこの業者に問い合わせたところキロ当たり1,500円というような  
話で処理費だけで24トンありますから、数千万円になってしまいました。実際、交渉をしている最  
中なのですが、東北のほうに持って行く方法も考えていますという話をしますと、かなり予算的に  
抑えていただきまして、それでも全体として来年度、大体4,000万円ぐらい合わせて6,000万円ぐら  
いの費用はかかると今のところ考えています。

○委員長（広地紀彰君） ほか。氏家委員。

○委員（氏家裕治君） 氏家です。これPCBの話なのですが、この歩道橋にPCBが使わ  
れているというのは性質上のものを使わないという規定の中で使われていたものなのだろうか。

○委員長（広地紀彰君） 河原井建設課主幹。

○建設課主幹（河原井久生君） 橋梁の塗装につきましては現時点で判明している有害物質とし  
まして鉛ですとかクロムとかというものも使われている時代がありました。PCBに関しましては  
1972年、昭和47年まではさびどめですとか塗料の安定ということで微量ではありますが使われて  
いた経緯はあります。それで実際には大体、昭和50年の前半ぐらいまでは原材料として含まれて  
いる可能性があるのではないかと報告を今はされているところです。

○委員長（広地紀彰君） 氏家委員。

○委員（氏家裕治君） 撤去の方法は図で見てわかるのですが、階段部分だとか細分化して  
撤去しなければならないところもあります。一番上の部分については一発で釣り上げられるの  
ですか。撤去にかかる日数はどのくらいかかるのか伺います。

○委員長（広地紀彰君） 河原井建設課主幹。

○建設課主幹（河原井久生君） 一番長い主桁部分については一括で取るつもりです。それと実際  
にかかる日数につきましては発注自体がJR北海道ということになりまして、詳しい日数は把握し  
ておりませんが、いずれにしてもそう時間をかけてやれませんので、細分化しなければならない  
ところは何日かかかると思います。ただ真ん中の大きなところは準備して一晩で当然、撤去はし  
なければいけないのかなという考えです。

○委員長（広地紀彰君） 氏家委員。

○委員（氏家裕治君） 細分化する階段の部分のところ両側そうなのですか。片側だけなのですか。

○委員長（広地紀彰君） 河原井建設課主幹。

○建設課主幹（河原井久生君） 基本的に支障となるものは海側のみです。山側のほうはJRの持  
ち物ではなくて日本貨物が持っていて、現在使われていない昔の大昭和製紙が使っていた路線  
が一番山側にありまして、そちらのほうにつきましては細分化しなくてもいけると考えています。

○委員長（広地紀彰君） ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（広地紀彰君） 担当課のほうは、補足等がありますか。

小関建設課長。

○建設課長（小関雄司君） 1億何がしの単年度でということ、うちのほうも予算までなかなか詰めることができなくて、こういう状況になったと反省しております。ただ工事そのものも夜中の2時間、3時間の限られた中でやらなければいけないということで、それと大がかりなクレーンなどをもってくるということで非常に煩雑な部分があつて、こういう状況になったということです。当初、想定していなかったPCBの部分もやはり我々としてもきちんと処理というのは責任を持ってやらなければいけないという部分なので、そのあたりも最終的な処分まで責任持ってやらせていただくような形で考えておりますので、ご理解のほどお願いしたいなと思います。

○委員長（広地紀彰君） それではよろしいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

---

### ◎閉会の宣告

○委員長（広地紀彰君） これで、産業厚生常任委員会協議会を終了いたします。

（午後 6時17分）